

会長：柳田 光寛 副会長：藤堂 孝一
幹事：荒武 義博 会報委員長：林 厚雄
会計：日高 邦孝
事務局：吉野由里子 宮崎市佐土原町下田島 11703-18
TEL：0985-62-7833 FAX：0985-62-7877
例会日：毎週水曜日
例会場：佐土原商工会 2F TEL：0985-73-2567



第1095回 平成21年12月2日(水)

本日のプログラム

- | | |
|--------------------|---------------|
| 1. 点 鐘 | 7. 幹 事 報 告 |
| 2. 国 家 斉 唱 | 8. 12月のセレモニー |
| 3. ロータリーソング | 9. 出 席 報 告 |
| 「奉仕の理想」 | 10. 委 員 会 報 告 |
| 4. 四つのテスト | 11. 年 次 総 会 |
| 5. 会 長 の 時 間 | 12. 点 鐘 |
| 6. ハッピーBOX披露『会長より』 | ※ 理 事 ・ 役 員 会 |

- 12月9日(水)・・・年次総会「クラブ管理運営委員会」
12月16日(水)・・・年度末懇親会「パームビーチホテル」
12月23日(水)・・・特別休会「祭日」

佐土原ロータリー月間テーマ

【家族月間】

第1094回の記録 平成21年11月25日

会長の時間

柳田 光寛 会長

皆さんこんにちは、本日は11月25日1094回目の例会です。よろしくお願いします。

最近、めっきり寒くなりました。本来は今頃の時期雨はあまり多くないような気がします。今年は好天が長続きする事がないようです。外での仕事の方や農業の方は大変だろうなあと思います。

本日は、お客様を紹介し、ゲスト卓話として春日台にある日本メノナイト・キリスト教会議、佐土原キリスト教会の吉行孝彦牧師にお越し頂いております。

経歴等の紹介は後ほどさせていただきます。



今日は、あまり良い話をお伝えできません。先日より退会の申し出のあった後藤会員より正式に退会届が出されました、長年ロータリアンとして共に活動をされてきたのに非常に残念です。是非この場において退会の挨拶をして貰えないだろうかとお願ひしたのですが、叶わずにあいさつ文を預かっておりますので代読させていただきます。

又、後藤さんより今月のハッピーを頂いておりますが、気を使われたのでしょうか佐土原クラブの益々の発展を祈念してと30,000円入っております。10年間に在籍して頂いておりますが、何か記念品を出してはと思いますが如何でしょうか？

次に、12月の第二週の例会が、年次総会になっております、そしてこの年次総会において次年度の役員・理事の選挙をおこなわねばならないとありますが、私の記憶では今まで選挙と云うのは無かったように思いますが、今回はどうしたものでしょうか？

幹事報告

荒武 義博 君



※例会変更届け～なし

※高鍋 RC/ 西都 RC ～ 12 月の例会案内

※いくつかの不手際のお詫びと、ご理解ご協力をお願い。

ハッピーBOX披露

- ※後藤明夫君 ～ 大変お世話になりました。クラブの益々の発展をお祈りいたします。
 ※正岡文郁君 ～ 心地よい小春日和ですね、しかし油断は大敵気をつけましょう。「ニコニコへ」
 ※垂水敏雄君 ～ 会員ご一同様のご健勝を祈念して。「財団へ」
 ※林厚雄君 ～ ようやくマスクがはずれそうです。「ニコニコへ」
 ※吉田康一郎君 ～ 先日歯車会のコンペで優勝しました。「ニコニコへ」
 ※中武幹雄君 ～ 前回の卓話ありがとうございました。「財団へ」

ゲスト卓話

吉行 孝彦 氏



吉行孝彦牧師経歴

○1960年生まれ

○1983年(昭和58年)3月 鹿児島大学教育学部 卒業

○1983年(昭和58年)4月～1997年(平成9年)3月 宮崎県公立小学校 教諭・広瀬北小学校, シンガポール日本人学校, 広瀬北小学校, 石河内小学校, 宮崎港小学校

○1997年(平成9年)4月～1998年(平成10年)3月 共立基督教研究所 在学

○1998年(平成10年)9月～1999年(平成11年)8月

(カナダ国BC州)サレー・メノナイト教会 牧師

○1999年(平成11年)6月～2001年(平成13年)8月 (カナダ国BC州)合同カナダ神学校 在学

○1999年(平成11年)9月～2008年(平成20年)3月 (カナダ国BC州)メノナイト日本語キリスト集会 牧師

○2008年(平成20年)4月～日本メノナイト・キリスト教会会議・佐土原キリスト教会 牧師

以上、年代順に簡単に経歴を書かせて頂きました。なお、「合同カナダ神学校・在学」と「メノナイト日本語キリスト集会・牧師」の年代が一部重なっているのは、学校に通いながら牧師をした時期があったからです。(人が許し・許される事の大切さをお話していただき、感動の時間を過ごさせていただきました。)

卓話内容

「アーミッシュの赦し」の話を通して、彼らを支えたキリスト教信仰についてお話します。2006年10月2日、アメリカにあるアーミッシュの村の学校に近所の男が銃を持って乱入して、5人の子供を殺して自分も自殺するという事件が起こりました。アメリカ社会はこの種のニュースにはそれ程衝撃を受けなくなっています。しかしそれから2～3日後、人々が本当に衝撃を受けるニュースが流れて来ました。アーミッシュの共同体は、事件の6時間後には犯人の妻、両親の所に行き、手を握ってこう言ったのです、

「私達は彼を赦します。あなた方も家族を亡くしました。悲しみを分かち合いましょう」。彼らは、自分の子供達の葬式に犯人の家族を招き、犯人の葬式にも多数が出席しました。さらに彼らは、全米から送られて来た義捐金を犯人の家族と分け合ったのです。

なぜそういうことをしたのか、出来たのか。彼らは「敵を愛し、あなた方を憎む者に親切にしてください」、「もし人の罪を赦すなら…天の父もあなた方を赦して下さい」といったキリストの言葉に従おうとした、しかしその背後には、彼らの決断を支えるところの信仰がありました。その信仰とは第1番目に「十字架の赦し」。キリスト教会は「キリストは人の罪に下るはずの罰を身代わりに引き受けて死なれた」と教えます。心に罪のない人がいるでしょうか。アーミッシュの「赦し」、その根底には「自分も神に赦されなければならない罪人なのだ」という信仰があったのです。第2番目は「永遠の命」。キリスト教の中心は「十字架で死なれたキリストが甦えられた」ということです。甦ったキリストが「私を信じる者は、死んでも生きる」と言われました。「罪を悔い、十字架による赦しを信じた者は、たとえ地上の命が終わっても天国で永遠に生きる」。キリスト教会はこの希望を語り続けて来ました。アーミッシュの人々を支えたのも「天国での再会の希望」でした。第3番目は「神の導き」。彼らの新聞に投稿記事が掲載されました、「あの出来事は人を恐怖におののかせました。それでも私達は神を信頼しています」。「どうして？」と問わざるを得ないようなこともある、でも「やがては(おそらく天国に行ってから)『そうだったのか』と納得させてもらおう時、神の善き導きが見える時が来る」、アーミッシュの人達はそうに理解したのです。

後に犯人の妻が語りました、「皆さんの思いやりは、私達家族を、地域社会を越えて行き、今、世界を変えようとしています」。「愛と赦し」、そこに物事を変える力が秘められているのではないかと教えられることです。

四つのテスト

「言行はこれに照らしてから」

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

出席状況 第1090回

平成21年10月28日(水)

会 員 数	26名
(免除会員 2名)	
出 席 者 数	20名
欠 席 者 数	6名
出 席 率	83.0%
メークアップ	0名
修正出席率	83.0%

MEMO

例会中は携帯電話の電源を切るか
マナーモードにしてください・・・